

《用語解説》

基本目標1 市民参加と協働による行政運営

※1 SNS(Social Networking Service)

人と人とのつながりを支援するインターネット上のサービス。代表的な例としてフェイスブックやツイッターなどが挙げられる。一般的にSNSを活用することで、インターネット上で共通の趣味などを持つほかの人とメッセージをやり取りしながら交友の輪を広げられる。

※2 オープンデータ

行政機関等が保有する公共データを、他のパソコン等で加工することに適したデータ形式で、かつ誰もが二次利用を可能とするルールによって公開されたデータのこと。オープンデータを有効活用することで、公共サービスの向上はもとより、行政の透明性・信頼性の向上、官民共同・市民参加の推進、新たなサービスやビジネスの創出による経済の活性化につながることを期待されている。

※3 パブリックコメント

市が作成した施策、事業などの原案をあらかじめ公表し、一定期間内にこれに対する意見を求めるとともに、提出された意見の概要と提出された意見に対する市の考え方を公表する一連の手続きをいう。江別市市民参加条例に定められた市民参加の方法の1つとして掲げられている。

基本目標2 意識と能力の高い職員による柔軟な行政運営

※4 キャリアプラン

職員が様々な分野の職務を経験する中で、自らの適性などを自覚し、今後どのような職について仕事をしていきたいかという目標を持ち、その目標の実現に向けた計画を立てることをいう。研修などを通じてキャリアプランの形成を支援することで、職員の意欲と能力の向上が図られる。

※5 ワークライフバランス

一人ひとりが、それぞれの希望に応じて「仕事(ワーク)」と「家庭生活や地域活動等の私生活(ライフ)」の調和を図り、その両方を充実させる状態をいう。ワークライフバランス実現に向けて取り組むことで、職員の意欲、能力、創造性を引き出して生産性の向上を図れるとともに、優秀な人材の確保・定着が可能となる。

(裏面へ)

基本目標3 健全な財政と行政サービスの向上を両立させた行政運営

※6 事務事業評価表

個別の事務事業毎に事業の目的や内容、進捗状況を測る指標等について記載したもの。事務事業を評価し、公表することで市民に対する説明責任を果たし、効果的・効率的な行政運営の実現を図ることを目的としている。

※7 クラウド

クラウドコンピューティングの略称で、インターネットなどのコンピューターネットワーク上に存在するパソコンなどの機器が提供するサービスの1つの形態をいう。住民票、税務、福祉などの自治体の住民情報システムを外部のデータセンターにおいて管理・運用(クラウド化)することで、コンピューターシステムの安全性・機密性の強化やパソコンなどの機器の管理等の負担軽減が図られる。

※8 タブレットPC

薄い板状の本体に、直接触れて操作が可能な液晶画面が組み込まれたパソコンのことをいう。

※9 PDCA サイクル

計画の立案から評価に至るまでの過程を、計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Action)のサイクルとして表したもの。PDCAサイクルを用いることで、外部環境(経済・社会環境)の変化に弾力的に対応し、目標を着実に達成していくことが図られる。

※10 AI(Artificial Intelligence)

人工知能のことで、記憶や判断などといった人間が持つ知的能力をコンピュータ上でも実現するための技術の総称。AIを窓口サービスに導入することで、取り扱いが難しい特殊事例の判断に生かすことができ、各種申請等の受理の迅速化が図られる。